

答辞

今年の冬は、例年になく雪が少なく、学校の坂道には新しい緑が芽吹き開き、教室の窓からは日の光が柔らかに注ぎ、四月に春の訪れを告げています。

少くも近づくと新しい季節の足音がやがて満開となる桜と華やかには高校生活を予感させてくれます。

僕達九名は、本日卒業の日を迎えました。

三年前の春も希望にあふれて、この体育館に並んでいました。いよいよ始まる中学生活への期待と緊張感を、今、再び思い出しています。

あれから早三年。すっかり窮屈になった制服が僕達の成長と思いを全て物語ってくれることに改めて気づきました。

楽しかったこと、悔しかったこと、つらかったことが沢山あふれ出すのに、今ではどれも思い出です。

三井中学校で過ごした学校生活は、とても充実していました。

よさこいや学校の発表、小さな行事や集会、いつもみんなで一生懸命用意し、精一杯取り組んできました。

運動会、三年生が中心となり、暑い夏休みから準備しました。自分達で考え、作ったダンスや同旗、苦勞のか、あつて、完成した時は、満足感で一杯でした。

当日は、体育館での開催だったけれど、みんなと近くでふれあひ協力して盛り上げることで、本当は心に残る運動会となりました。

それから最後の文化祭、

恒例のモニメントは、沢山の時間と労力を使いました。ここにかざられている三年間のモニメントは、まさしく僕達の歴史であり、三井中学への感謝の形です。

全校劇は毎日必死で練習した

かかあ、それそれが役になり切れて、すばらしいものに仕上げられたと自負しています。会場からの大きな拍手を今でもほろりと感じています。今年も開校ということもあって、文化祭のテーマは「感謝」でした。僕達とこれまで育んでくれた学校や地域への気持ちが大きくみんなを盛りあげられた二つの行事でした。

三年間、僕達を大きく成長させてくれた部活動、

なかなか一勝できず、チームスポーツの難

しさ、そして^{仲間の}ありがたさを学ぶことがで

きました。そして、十勝でも勝つことが

できた喜びは、僕達の心の宝物です。

いつも沢山の人の応援してもらった、

と 昔しかったことも多かったですねと
続けて良かったと心から思っています。

後輩の皆さん、来年からは新しい

学校で、新しい仲間と勉強や部活
動を始めなければなりません。

不安や期待はあるけれど、三井中
校で頑張った僕達や仲間との毎日
が、きっとみなさんの力になって支えて
くれると思います。

新しい中学校の生徒として、また、
三井中学校の生徒として、恥じない
生徒でいて下さい。

校長先生、僕達が勇気を出して
試合や行事に臨めるようにいつも細
ましくして下さい。

それから教頭先生は、いつもカメラを片

手に心掛けて下さいました。先生のその
カメラに納められて、僕達の笑顔も
忘れないうで下さい。

二年間、僕達の副担として下さった、
小田原先生、親父のような存在で、いろ
いろ助けました。ありがとうございました。

担任の天野先生、いろいろと心配をま
せた、ことと思いますが、いざという時は本
音で僕達にぶつかって下さるおかげ
で、毎日、真剣に、自分の気持ちに素
直に行動することができました。

個性豊かな先生方や職員の方々の皆
様のおかげで、勉強面だけでなく、日々
の生活でもたくさん、のびのびと教えてい
ただきました。

そして、今まで育ててくれたお父さん、
お母さん。

つ、反折的になつた。いかに
こともあつたことでしょう。
部活動が終わったのに長いこと待たせ
た時も、思うような結果が出なかつた
時も黙って暖かく僕達を見守る
くれました。

感謝しています。

本当にありがとうございます。

きことこれからも気を使わせたり心配
させたりするだろうけれど、よろしく

お願いします。

先日、沢山のドラマと感動を
残して、チオリーグが幕を
閉じました。

あのつらく、震災を乗り越え、こ
みごとに金メダルに輝いた羽生選
手は、日本中にさわやかさと元気を
与えてくれました。

また、チオで悲願のメダルを

また、チオで悲願のメダルを
手にした葛西選手の、あきらめな
い気持ちには、僕達に勇気と人間
の可能性を見せられました。

どんなにつらく、世の中でも人の持
つ力は、明るく未来の希望だと
信じる事ができます。

この学校は今年度で閉校とな
ってしまいましたが、大事な中学校
の三年間をこの学校で過ごせて
僕達は幸せでした。

はからすも、僕の祖父は、この中

学校が新校舎に変わった年に入学
したそうです。そして僕は、最後
の卒業生として、このことを知るこ
とを知

った時に、一層、三井中学校の歴史

の重なる手渡された、時間の手紙を

の重さと手渡された時間の重さを
を感じました。

三井中学校は小さな小さな学校
ですが、ここを卒業したすべての卒

業生にとって

大きな大きな存在です。

僕達の心の中に一生残ることでは
う。みんなが笑顔でいられたこの
学校が大好きです。

けれども今日を最後にこの校舎を

離れて、それぞれの場所へ旅立たな
ければなりません。別れはともつら

いけれどもこの学校で学んだことを

胸に、次の場所でもきっと力強く生
きていきたいと思います。

けれどもこの学校で学んだことを
胸に、次の場所でもきっと力強く生
きていきたいと思います。

懐かしい教室、優しい友の顔、美し
い三井中学校。

僕達は決して忘れません。

苦しい時、つらい時には、この校舎を
そと思い出さず、あきらめず、たくま
しく人生を歩んでいくことを皆様に
お誓いして、最後の言葉といた
します。

ありがとうございました。

そして、さようなら

平成二十六年三月十四日

卒業生代表